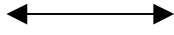




お金を当（あて）にしない心の大切さ

～竹宵実行委員会発足にあたって～

フロム市長



トゥ市職員

590

2003.5.29

以前のフロム市長でも何度も書いてきましたが、チャーリー・チャップリンの名画「ライム・ライト」の中の「人生で最も大切なものは、勇気と想像力と“少しばかりのお金”というセリフを私は大切に思っています。

“少しばかりのお金”は、英語のセリフは“little dollar”といているようなのですが、どう訳したら良いのか分からずにモヤモヤしてきました。竹宵の設立総会に出席して、“little dollar”は「お金を当（あて）にしないこと」だと思い至りました。

大不況の中、失意の踊り子に尋ねられて

「ライム・ライト」の中のセリフは有名です。「勇気と夢とサムナー」と訳されていることが多いようですが、英語では「courage と imagination と little dollar」です。

大不況の真只中のアメリカで、リウマチに冒されて失意のどん底にいる踊り子テリーを、チャップリン扮する老道化師のカルベロが励まします。ある時、「人生で大切なものは何ですか」とテリーに尋ねられたカルベロは、先ず「courage」、次に「imagination」と答えました。そして、思い入れるように間を置いて最後に答えたのが「little dollar」でした。

お金を当（あて）にしない・・・

「little dollar」は、「サムナー」・「少しばかりのお金」と訳されて有名になっていますが、映画の場面を思い起こすと「お金も少しだけは必要だよ」というのはそぐわないようで、心に残りつづけてきました。

竹宵実行委員の設立総会で挨拶をしていて、「お金を当（あて）にはしてはいけないよ」と気付き、やっと腑に落ちた感じです。

お金（補助金）を当てにしない「うすき竹宵」に

「うすき竹宵」は6年前に竹と光と芸術のお祭りということで、「竹光芸まつり」として誕生し、今年で7回目を迎えます。第1回は、県の調整費を80万円いただき、市費80万円と合わせて160万円の事業費。この他に、臼杵美容組合の皆さんのご協力による、着物の無料着付けとヘアセット、臼杵市写真協会の記念写真サービスなど、手作りのボランティア活動が好評で、その後の発展につながりました。

3年目からは、電源地域産業育成支援事業の補助金をいただけるようになり、市費と合わせて、3年目14,113,966円、4年目12,593,091円、5年目12,598,517円、6年目(昨年)10,509,111円の補助金を市が補助しました。(補助金の4分の3を国、4分の1を市が負担)

今年は、この電源立地関係の補助金がいただけなくなったので、今年からが正念場です。

「竹宵」は、補助金をいただいて大きく育ちました。その一方で、補助金に甘えたバブリーな体質に変化したことも否めません。

補助金漬けから脱して、臼杵らしい自立自助のお祭りに戻ることは喜ぶべきことといえます。

4年間にわたり、補助金をいただいて大きく育てていただいたことに心から感謝すると共に、“勇気”と“想像力”を生かして自立自助のお祭りを創りあげたいものです。